

## 放課後等デイサービス自己評価 集計結果

公表:令和二年 月 日

事業所名 こどもプラスほしのこアルファ

		項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		当事業所は75㎡あり、児童が運動するには十分なスペースが確保されています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		職員数は、児童10名に対し職員2名が基準として定められています。当事業所は、安全面等を考慮し、職員を配置しています。また、全職員有資格者となっています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		相談室、職員室、運動等のスペースや道具の片付け、荷物を入れる場所を明確にしています。入り口や各部屋に段差はなく、バリアフリーとなっています。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝ミーティングを行っています。また、月に1回姉妹教室を含めたミーティングを行い、情報共有や業務改善に取り組んでいます。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の方に事業所評価をしていただきました。今後も1年に1度はアンケートを実施し、保護者の方からの意見をもとに改善に向けて対応をさせていただきます。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者向け評価表と事業所向け評価表の結果を集計し、ホームページ上で公開させていただきます。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	こどもプラス系列の外部講師に改善すべき点を具体的に指摘していただき、その内容を反映しています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		防災研修、虐待研修、強度行動障害研修等外部研修へ参加しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童指導員や児童発達支援管理責任者の複数の意見を取り入れながら作成しています。	

## 適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約時、また年度が変わるごとにアセスメントシートの記入を保護者の方にお願ひし、子どもの状況を把握しています。	
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		朝のミーティングや療育後などの時間で、改善点や課題設定を話し合いを行うようにしています。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		その日の児童の様子に合わせて臨機応変に対応しています。また、子どもたちが飽きないように変化を加え取り組んでいます。	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		休日や長期休暇では、お出かけ療育を実施し、公共施設等でのマナーを身につけられるように支援をしています。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動の内容を中心とした個別支援計画を作成していますが、その日の子どもの様子に応じ個別に対応しています。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝職員間でミーティングを行い、児童の様子や療育の内容について話し合っています。また、前日の振り返りや保護者からのご相談・情報についても共有しています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		児童の様子や保護者からの連絡事項を共有しています。また、児童との関わり方や療育の内容について振り返り、改善に努めています。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		各児童の一日の様子、全体活動日誌、サービス提供内容の記載を行っています。支援の記録を取ることで、振り返り・改善点へと繋げています。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個々の成長に応じて、見直しを行っています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		自立支援や地域交流等複数組み合わせさせて支援を行えるように努めています。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が対応しています。	

関係機関や保護者との連携

②①	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校での児童の様子を知るために学校公開に参加させていただいています。また、送迎を行っている際、交通状況や児童の様子によって、お迎えに遅れが生じる可能性がある場合は、学校に直接連絡を入れています。	
②②	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		姉妹教室と情報を共有し、連携を図っています。低学年児童がいないため、就学前の機関との関わりはほとんどありません。	
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		利用している児童の年齢により今年度該当なし。	
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に参加できるときは、参加させて頂いています。	
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域行事に参加し交流の場を設けています。今年度は、雨天の為「夏祭り」が中止になってしまいましたがお出かけ療育等を通して公共の場に行く機会を設けております。	
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議や発達応援フェア等への参加をしています。	
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育後に、その日の児童の様子について話す時間を設けています。ご家庭や学校での様子についても都度情報共有をしていただいております。	
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者対応やモニタリング時に、対応方法や工夫すべき点などをお伝えするようにしています。	
③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に読み合わせを行っています。変更があった際にも同様にお伝えしています。	

保

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		事前に日時を決めてから相談室を開放し、児童発達支援管理責任者のみでなく保護者のニーズに応じた職員が対応できるように努めています。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会やほしのこカフェ・勉強会を開催し、保護者の方同士で交流・相談できる場を設けています。	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者の方からご意見を受けた際には、迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行し、日々の療育の様子やお知らせを伝えています。また、教室のホームページも定期的に更新し情報を発信しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付き書庫にて管理をしています。送迎時等で持ち出しの際には、紛失等の無いように気をつけております。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とも情報共有を図り、児童とやり取りできるように努めています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		行事のポスターを入りに掲示し、地域の方々にも参加していただいています。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し教室に保管しています。災害時等には「マチコミ」を利用した伝達方法を取らせていただきますので、アプリの利用をお願いしております。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に様々な状況を想定した避難訓練を実施して	一人で通所する児童が多い為、SSTやロールプレイを行い、不審者に話しかけられた際の瞬時に行動ができるよう指導をしていきます。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		内部外部研修を行い、情報共有しています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		児童の安全確保のため、やむを得ない拘束があった場合には記録に残し、保護者にもその状況説明や対応を伝えるようにしています。	現在やむを得ず、身体拘束を必要とする児童が在籍していないため、個別支援計画への記載は行っていません。今後記載を検討していきます。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	子どもたちが調理を行う場合は、都度保護者へアレルギーの再確認を行っています。契約の際には、保護者からの聞き取りを行っています。医師の指示書は、大切にしています。	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハットが起こった際には、記録と教室内でのフィードバックを行い、再発防止の対策や改善に努めています。	